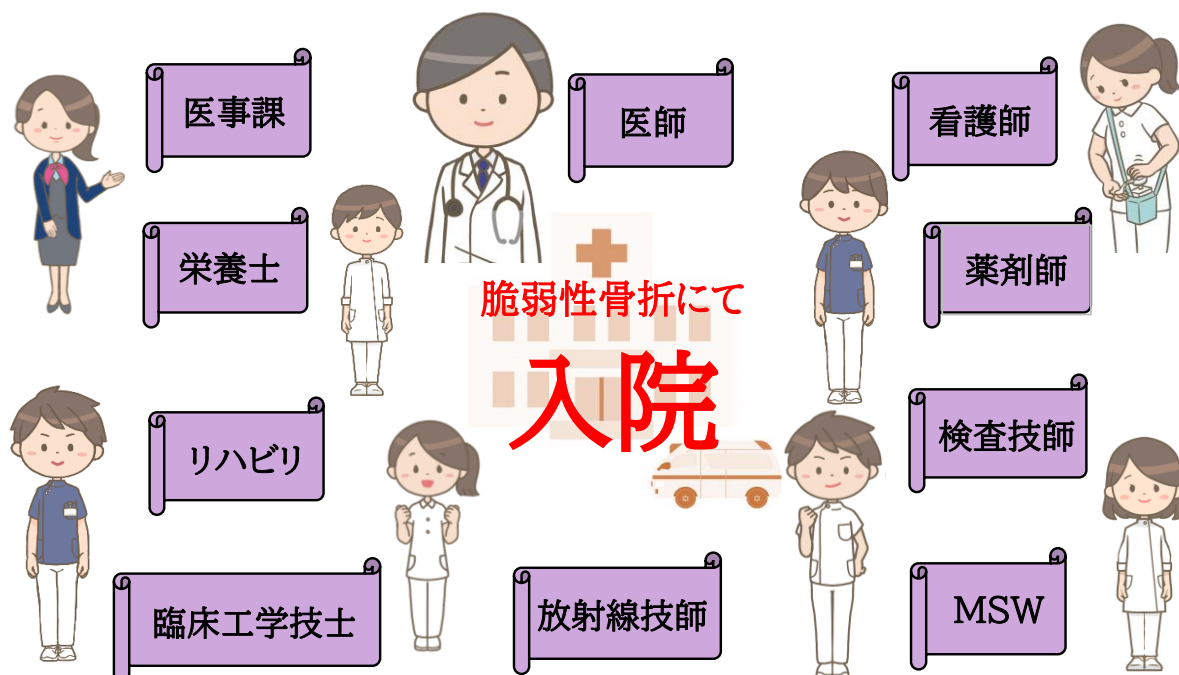


西条中央病院OLS(骨粗鬆症リエゾンサービス)の紹介

医師を中心に各職種がチームでかかわります



★情報共有

★患者説明

★骨粗鬆症カンファレンス

★退院後フォロー

令和元年9月より13名でスタートしました。現在は大腿骨近位部骨折により手術が必要になった11名(令和元年10月末時点)の患者様をチームでサポートしております。入院中はもちろんのこと、退院後の治療薬の継続、運動・栄養指導をしっかりとおこなっております。

DXAの予約承っております



医療法人 若葉会 西条中央病院 TEL423-3051

● OLS(骨粗鬆症リエゾンサービス)とは

リエゾンとは「連絡係」と訳され、診療におけるコーディネーターの役割を意味します。その目的は、最初の骨折への対応および骨折リスク評価と、新たな骨折の防止、また最初の脆弱性骨折の予防であり、サービスの提供対象は大腿骨近位部骨折、その他の脆弱性骨折、骨折リスク、転倒リスクの高い方、高齢者一般です。すでに英国、豪州、カナダではこのようなサービスが実施され、多職種連携による骨折抑制を推進するコーディネーターの活動によって、骨折発生率が低下し、トータルでは医療費も少なくて済むことが報告されています。

● 当院の骨粗鬆症治療について

大腿骨近位部、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折などの脆弱性骨折を生じた患者さんに対して、骨密度や骨代謝マーカーなどのチェックを行い、必要に応じて適切な骨粗鬆症治療を行っております。患者さんの状態に応じて薬剤の種類や、内服、注射剤などの投与方法の検討、またOLSスタッフによる治療継続のチェックなども行っております。もちろん骨折していない患者さんに対しても希望や必要に応じて検査、治療を行っております。

● 今後の目標

- ・各職員のスキルのさらなる向上
- ・骨粗鬆症の「治療率向上」と「治療継続率向上」
- ・地域での積極的な活動

● リエゾンサービスのメンバー

医師
看護師
薬剤師
診療放射線技師
理学療法士
管理栄養士
臨床検査技師
臨床工学技士
医事課
地域医療連携室

